

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
 ご使用前に、本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いいただきようお願い申し上げます。なお、本取扱説明書/保証書はお手元にご保管し、必要に応じてご覧下さい。

取扱説明書

- 製品仕様**
- 時間精度：平均月差±30秒以内（常温での使用時）
（電波時計による時刻修正を行わない場合）
 - ※指針（針）の位置誤差
 アナログ時計の特性上、指針誤差が生じる場合がありますが、故障ではございませんのでそのままお使い下さい。
 秒針：±1秒以内、時、分針：±3分以内
 - 使用温度範囲：0℃～40℃
 - 使用推奨電池：単3形アルカリ乾電池(LR6、1.5V) 1個（電池別売）
 - 電池寿命：約12ヶ月（単3形アルカリ乾電池1個使用の場合）
 - 電波受信/時刻合わせ機能：
 40kHz/60kHzのどちらかを受信しやすい電波を受信し、現在時刻に合わせます。
 ●自動受信（最多6回/1日）
 ●手動受信
 - 夜間秒針停止機能：
 午後10時0分から午前6時0分の間は、秒針のみ12時位置で停止します。

●本取扱説明書の内容は改良のため、予告なく変更する場合があります。●印刷による制約のため、本取扱説明書の図が実際の表示と異なる場合があります。●本製品によって生じたいかなる支出・損益・その他の損失に対してはなんら責任を負いません。●本取扱説明書を製造者の許可なく変更・複製することを禁じます。

保証・アフターサービスについて

- 保証の内容については下記保証書をご覧ください。
- 尚、保証書は日本国内のみ有効です。アフターサービスは海外ではできません。
- 次のような場合には保証期間内でも有料修理になりますのでご注意ください。
- 本保証書の提示がない場合
- 本保証書に販売店およびお買上げ日の記載がない場合
- 落った、不注意、不注意、不当な修理により生じた故障・損傷
- 改造または分解により生じた故障・損傷
- 火災や天災地震による故障・損傷
- ご使用中に生じた傷など外観上の変化・損傷
- 保証期間中、期間経過後とも、修理箇所をお客様がお買上げ店にお持込みいただけます。修理を依頼される場合はお買上げ店にご持参下さい。
- 修理費をおおむね、ご送付される場合の運賃・梱包料費用は、お客様にて負担願います。
- 修理・調整にあたっては、部品・付属品などについては、一部代替部品を使用させていただくことがあります。
- 本製品、ならびにアフターサービスなどにつきましてご不明な点がございましたら、製品本体の裏面または底面に表示しております型番をご確認の上、ノア精密時計サービスセンターにお問い合わせ下さい。
(例：W-000、FEW000など)

ノア精密株式会社 サービスセンター
 〒340-0002 埼玉県草加市青柳 6-46-1
 TEL:048-933-4080
 http://www.mag-clock.co.jp

受付時間：月曜日～金曜日（土・日曜日、祝日、年末年始を除く）
 10:00～12:00、13:00～17:00
 ※住所、電話番号、受付時間などは、都合により変更される場合があります。
 あらかじめご了承下さい。

HD-1688 RCstep-zz1710

保証書 GUARANTEE

お買上げ後1年間の保証期間内に取扱説明書にそった正常な使用状態で万が一故障した場合には、無料で修理・調整いたします。製品と本保証書をご持参・ご提示の上、お買上げ店にご依頼下さい。尚、本保証書の発行によりお客様の権利上の権利を制限するものではありません。

型番		この保証書は、複製のため、ご利用できません。
お買上げ日		
保証期間	お買上げ日より	

販売店名、同印、お買上げ日の記入の無いものは無効です。
 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管して下さい。
(This guarantee is valid only in Japan.)
 発売元 ノア精密株式会社
 〒341-1111 埼玉県草加市東区寿 1-6-7 コービッツ特光3階

注意と警告

安全にご使用いただくために、下記の注意事項を必ず守って下さい。

- 使用上の注意**
- 禁止** ●**分解** ●**改造**をしないで下さい。
 - △**注意** △**警告** ●強いショックを与えないで下さい。●次のような場所での使用・保管は、しないで下さい。●温度が10℃以下、または+40℃以上になる場所●浴槽など、湿気が多い場所●直射日光などの強い紫外線が当たる場所●強い磁気がある場所●振動の激しい場所、不安定な場所●工場、倉庫など、油の多く発生する場所●温泉場など、ガスの発生する場所●雷風機などの機械した品が当たる場所●塵埃の多い場所●ゴムやビニル系素材に長い間連続触れさせておくこと。色移りや付着・変質をする場合があります。●極細包装は絶対にかぶらないで下さい。

電池について

- 禁止** ●シヨトウ・分解・加熱・火を入れるなどしないで下さい。●トーを逆に入れて下さい。●電池は直接ハンダ付けをしないで下さい。

△**注意** △**警告** ●製品仕様の電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いている場合は、機器から電池をはずして下さい。●長期・長期、機器を使用しない場合は、電池から離れた状態で保管して下さい。●電池が濡れた場合は、速に乾かして下さい。●電池から濡れた液が皮膚や衣類に付着した場合は、ケガの恐れがあるので、すぐに水で洗い流し、皮膚に相談して下さい。目に入ったときは、失明などの恐れがあるので、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けて下さい。●電池は幼児の手の届かない場所に保管して下さい。万一、飲み込んだ場合は、●電池に相談して下さい。●電池着脱の際は、指先をケガしないよう注意して下さい。●電池を廃棄、または保管する場合は、テープなどで絶縁して下さい。●他の金属や電池と接触して発火・破裂の恐れがあります。●廃棄の際は各自治体の指定に従って下さい。
 ※充電式電池・リチウム乾電池には対応しておりません。機械に不具合が起きる可能性があります。また、使用しないで下さい。
 ※一部の高性能電池は、初期電圧が高く時計に負担をかけるものがあります。
 ※アルカリ形電池とマンガン乾電池はどちらも使用可能です。一般にアルカリ形電池の方が長持ちします。
 ※異質の電池を使用した場合は、乾電池に示されている「使用推奨期間」や保管状態により、電池寿命が短くなることがあります。

こんな症状のときは・・・

- 針がぐるぐる回る■
- ① 電池を入れた直後の電波の受信の準備中
 ⇒ そのままお待ち下さい。
 早回りにしている針は、正午(12時位置)で一旦停止します。電波を受信すると、自動的に針を現在時刻に合わせます。
 ※その間ボタン操作はしないで下さい。
 - ② 時刻修正中
 ⇒ そのままお待ち下さい。
 電波受信に成功した場合、自動的に針を現在時刻に合わせます。電波受信に失敗した場合、通常の運針を始めますが、現在時刻ではありません。
 - ③ 電池容量が少ない時
 ⇒ 新しい電池（単3形乾電池）と交換して下さい。
- 秒針が止まっている■
- ① 夜間秒針停止中
 ⇒ 本製品は、夜間の秒針の動きが音に気がならないように、内蔵プログラムにより、午後10時0分から午前6時0分までの間、秒針が12時位置で停止します。
 - ② 手動時刻設定時に、午前/午後を間違えて設定したとき
 ⇒ 午前/午後を間違えて設定すると、日中に夜間秒針停止機能が作動してしまいます。時分針を12時位置まで、時針と実際の午前/午後を合わせて下さい。
 ※本書 電波受信ができなかった場合は・・・「F」手動で時刻を設定する」を参照して下さい。
 - ③ 針がぐるぐる回った直後の電波受信状態のとき
 ⇒ そのままお待ち下さい。
 ※本書 「使用方法」②「初期電波受信を開始」を参照して下さい。
 - ④ 秒針位置の自動補正中
 ⇒ そのままお待ち下さい。
 本製品は、秒針位置の誤差を自動で修正します。

故障かな？と思ったら・・・

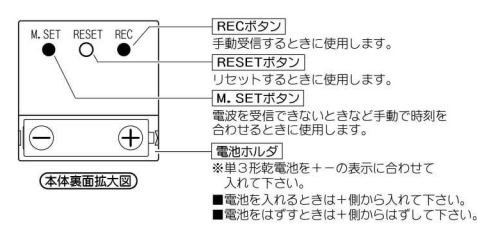
※製品が正常に作動していないときは、修理を依頼する前に下記を参考に確認ください。

症 状	考えられる原因	処 置
時計が動かない	●電池が入っていない ●電池が正しい向きで入っていない ●電池端子の接触不良 ●電池容量が無い	●電池の＋の向きを確認 ●新しい電池を入れて下さい。 ●電池の表面を拭いて電池を入れ直して下さい。
時計が止まるまたは遅れる	●電池容量が少ない ●電波障害	●新しい電池と交換して下さい。 ●RESETボタンを押して下さい。 ●そのままだけらお待ち下さい
時分針が早回りした後、動かない	●電波の受信中 ●電池容量が無い、又は容量が少ない	●そのままだけらお待ち下さい その間ボタン操作はしないで下さい。 ●本書「使用方法」②「初期電波受信を開始」を参照 ●新しい電池と交換して下さい。

ご使用の前に

本製品は、日本標準電波を受信して、自動で時刻を修正する機能を持った電波時計です。操作の手順や動作などが、一般の時計製品と異なります。本取扱説明書の「ご使用方法」に従って、正しい操作をしていただきますようお願い申し上げます。本書をお手元にご保管して下さい。

各部の名称



ご使用方法

- ① 電池を入れる
 単3形乾電池1個を、電池ホルダの＋の表示に合わせて入れて下さい。
- ② 初期電波受信を開始
 電池を入れたら電波受信状態となり、針が早回りをして、正午(12時位置)で一旦停止します。

注意 ●電波受信中(4～12分間)は、針が停止したままになりますが、故障ではありません。
 ●電波受信の結果がわかるまで、そのままお待ち下さい。

- 電波受信に成功した場合、自動的に針は現在時刻を表示します。
- 電波受信に失敗した場合、時刻を修正しないで、針は正午(12時位置)より通常の運針が始まります。
 ー下記、電波受信ができなかった場合は・・・を参照して下さい。
- ③ 時計を掛ける
 ※本説明書の「時計の掛け方について」を参照して下さい。

電波受信ができなかった場合は・・・

- ① 一昼夜そのままにして様子を見る
 夜間は比較的電波の状況がよくないので、受信する可能性が高くなります。初期受信に失敗しても、定期的に自動で受信を始めるので、本取扱説明書の「リセット操作について」を参照して、午後8時以降を自由にリセット操作を行い、夜半を経過して様子を見て下さい。
 ※初期受信が出来なかった場合は、一日最多4回まで自動で受信を開始します。
 ※電波を受信できない場合は、時計が自動的に時刻を自動受信時まで通常の運針を始めます。
- ② 設置場所を変えて様子を見る
 設置場所を変えて、再度、受信をさせて下さい。
 ※設置場所を変える場合は、本取扱説明書「電波時計について」を参照して下さい。
- ③ 再度受信をさせる
 通常の運針が始まった後に、RECボタンを3秒間押しして下さい。針が早回りをして12時位置で停止し、再度4～12分間電波受信状態になります。
- 電波受信に成功した場合、自動的に針は現在時刻を表示します。
- 電波受信に失敗した場合、通常の運針を始めますが、現在時刻ではありません。
- ④ 手動で時刻を設定する

注意

電波受信中(受信のための時分秒針の運針中または停止中)は手動による時刻設定はできません。必ず通常の運針中に操作して下さい。
 誤動作の原因となります。

- ①通常の運針時 M.SETボタンを3秒以上押し続けると、秒針が早回りをして12時位置で停止し、手動で時刻が設定できる状態になります。針が停止したら、一旦ボタンを放して下さい。
- ②(針が停止中)にM.SETボタンを1回押すと分針が1分ずつ進みます。ボタンを押しながら早回りをし、放すと停止します。時分秒針の情報を手動に確認し、午前/午後に注意して時刻の設定をして下さい。
 ※お使いの時刻の10分程度まで現在時刻に合わせて下さい。
 ※合わせたい時刻の10分程度まで一旦早回りをさせて、残りの数分をM.SETボタンを1回ずつ押し時針を進めると合わせやすいです。
- ③手動設定が終了したら、RECボタンを押す、またはM.SETボタンを放して30分以上お待ち下さい。秒針が動き出し通常の運針を始めます。
 ※手動で時刻を設定した場合、自動受信時間となるまで、電波を受信する状態になります。電波受信に成功した場合、自動的に針は現在時刻を表示します。

自動電波受信機能について

●本製品は、時刻を修正するために、毎日、内蔵プログラムにより自動電波受信を行います。電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で計時し、次の自動受信時間に再び電波受信を行います。

電波時計について

電波時計とは、標準電波を受信して、自動で時刻を修正する機能を持った時計です。電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で計時します。

標準電波について

日本標準時刻情報をもとにした標準電波は、情報通信研究機構によって運用されています。標準電波の周波数は、F(周波数)として、おおよそ107年に1秒の誤差という精度を保っている。標準電波送信所は福島県と九州の2カ所であり、福島周は40kHz、九州周は350kHzの周波数で標準電波を送信しています。各送信所からの受信範囲の目安は、おおよそ半径100kmとされています。



●標準電波は、毎時15分と45分からの各1時間あたりはユーザからの送信を行わず一部時刻情報の送信を中断します。また、送信所の設備故障や雷害などの影響により電波を受信できない場合があります。受信に関する情報は、標準電波についての詳しい情報は「情報通信研究機構」のホームページ内の「日本標準時刻サービス」を参照して下さい。
 情報通信研究機構 ホームページアドレス <http://jijy.nict.go.jp>

日本国外でのご使用について

本製品は、日本の標準電波以外は受信できません。海外で使用した場合は、ご使用になる場所の条件によっては、日本の標準電波を受信したり、ノイズによって誤った時刻を表示する場合があります。あらかじめご了承下さい。

使用場所について

電波時計はラジオと同様に電波を受信して機能します。以下のような条件では電波受信が困難ですので、このような場所を避けて使用して下さい。

- 鉄筋、鉄骨の建物の中や地下
- 山、ヒルなどの電波をささげるものの近く
- 高山電線、ラジオやテレビの送信機の近く
- 自動車、電車、飛行機などの中
- 特に移動中は電波障害が起きやすくなります
- 空港、交通量の多い道路の近くや工事現場など電波障害の起きる場所
- テレビ、パソコン、ファックスなどの家電機器や、携帯電話などの電波を発する通信機器、蛍光灯などの照明器具の近く
- 金属(床、天井)等に設置して設置した電波障害等により誤った電波を受信し、時刻を表示する場合があります。このような場合は、午後8時以降を自由にリセット操作を行う、もしくは使用する場所を変更してご使用下さい。

夜間秒針停止機能について

本製品は、内蔵プログラムにより、午後10時0分から午前6時0分までの間は、秒針のみ12時位置で停止します。
 ※夜間秒針停止以外でも自動受信のときは、秒針が動くことがあります。また時・分針も通常運針以外の動きをする場合がありますが故障ではありません。

リセット操作について

操作中に不明な点が出てきた場合は、RESETボタンを押して下さい。設定されている内容が初期状態に戻ります。
 針が早回りして12時位置で停止し、再度4～12分間電波受信状態となります。
 ※RESETボタンを押せば時計のクランプの先などを押して下さい。針などの鋭利なものを使用するとボタンが破損しますのでご注意ください。

静電気の影響

静電気の影響により、正常に動かなくなる場合があります。このようなときには、リセット操作をして下さい。

時計の掛け方について

注意

●時計は確実に掛けて下さい。落下により、クガをする恐れがあります。●掛け具の時針を掛けた際に、時計本体を下・左右・前後に軽く動かし、確実に掛かっていることを確認して下さい。●時計は垂直・水平に掛けて下さい。時計が傾きがあると時計の精度や機能が正常に働きません。●取り付ける際の材質については、建築メーカ等にご相談下さい。



電池の交換時期について

電池容量が少なくなると、秒針の進みが目に見えて遅くなります。自動電波受信のときは、針がぐるぐる回ります。このような場合は、すみやかに新しい電池と交換して下さい。

お手入れについて

- プラスチックはふき拭き、水で薄めた中性洗剤を少量混ぜた柔らかい布でふき、ぬいだ後にふき拭きして下さい。木枠・金属枠の場合は、柔らかい布でふき拭きして下さい。
- バックル、アルコールなどの溶剤、ミカド粉、ブラシは使用しないで下さい。変色、変形の恐れがあります。